

2025 年 02 月 11 日（火）【外為 L a b】松田哲

タイトル：【日米首脳会談】

石破首相は、現地時間 2 月 7 日に、トランプ大統領との日米首脳会談を行った。

マスコミの発表は、概ね高い評価を与えているようだ。

石破首相は、トランプ大統領と良好な関係を築き、日米同盟を確認し、経済面でも良い印象を残した、と言える。

ただし、予測不可能なトランプ大統領の行動を踏まえると、手放しで、安心できることはあり得ない、と考えます。

+++++

石破首相にとって、初めての日米首脳会談は良好に終わったことは、目出度いことと、喜んで良いのだろうが、今後、トランプ大統領が日本にも高関税を課す可能性は高い、と考えます。

+++++

日本製鉄が U S スチールを買収する問題も、日本製鉄が U S スチールへ大規模投資を行う、という形で妥協点を見出した。

しかし、この問題に関して、トランプ大統領は、日本製鉄が U S スチールの株式の過半数を保有することを認めておらず、全面的な解決に至った、とは言えない。

まだまだ、紆余曲折があるのではないかと危惧しています。

+++++

そして、トランプ大統領は、日本の対米貿易黒字が引き続き巨額であることを指摘している。

日米の貿易問題は、長年の課題であった。

しかし、米中貿易問題が注視されることで、その注目度が下がっていた感がある。

日米の貿易問題が大きなテーマ（課題）となる場合は、外国為替市場に大きく影響を与えることになるので、要注意と考えます。

+++++

さらに、今回の日米首脳会談では、全く話題に上っていないのだが、「日米地位協定」で、日本が米国に対して対等な立場を得ることは、石破首相の「公約」である、と個人的には考えています。

初めての日米首脳会談では、当然のことながら、それに言及することは無理なことも理解します。

しかしながら、今後、是非とも、「日米地位協定」の改正を実行してもらいたい、と願っています。

+++++

石破首相は、首脳会談で、米国からの液化天然ガス（LNG）輸入を増やすと述べ、トランプ大統領も、日米貿易問題の解消に役立つ旨述べた。

しかし、これも、巨額の投資を伴う大事業であり、今のところは「絵に描いた餅」に過ぎない、と考えます。

今後、具体案、具体策が出てきた際に、その実現性を占う必要を感じる。

+++++

確かに、初めての日米首脳会談なので、評価して良いのだろうが、全てを鵜呑みにすることは、到底できない、と考えます。

+++++

+++++

(2025 年 02 月 11 日東京時間 13 : 35 記述)